LC モデリスタバージョン

リヤスタイリングキット　取付要領書　品番　D2640-62910-**

設定型式:URZ100/GWZ100　設定グレード:全グレード

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
本書は、リヤスタイリングキットの取付要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なって下さい。

取り付け上の注意事項

★ 本商品は登録後架装を前提としています。

■車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際間違えない様配慮して下さい。また、部品に傷を付けたりしない様に取り扱いに注意して作業を行なって下さい。
■本書で指示した部品以外は、取り外さない様注意して下さい。
■商品の仮合わせ時等においては、マスキングテープ等で車両側への傷付き防止策を行なった上で実施して下さい。
■リヤスタイリングキットを取り付ける部品の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取って下さい。
■本製品の取り付けは、２名で作業を行なって下さい。
■エンドモール（両面テープ付き）・両面テープを貼り付ける部分は、必ず脱脂して下さい。脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
■両面テープの接着力促進剤として、**必ず両面テープ用プライマーを塗って下さい。**
（PACプライマーN200を本品に添付）
重要 プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、**常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。**
重要 ■両面テープは、外気温が**15℃以下になると接着力が低下します**ので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なって下さい。
■両面テープのプライマーは、 特に塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、アルコール等で拭き取って下さい。
■**ボディーコートが塗布されている車両はボディーコートを剥離して下さい。**
（必ずマスキングし、なるべく細かい番手で行なう。）ボディーコートが塗布されている車両は脱脂作業を行なっても、プライマーの接着力促進効果を充分に発揮できない場合があります。ボディーコート除去後は、アルコール等で脱脂をきちんと行って下さい。
重要 ■両面テープの圧着を十分に行って下さい。49N（5kgf/cm²）以上
重要 ■走行直後などはマフラーが高温の為、火傷のおそれがあり危険です。
テールエンドフィニッシャー装着の際、マフラーが完全に冷えてから作業を行って下さい。

取り付け完了後の点検・注意事項

■リヤスタイリングキットが、車両に確実に貼り付けされているか点検して下さい。
■両面テープの全ての離型紙が剥がされ、確実に圧着されているか点検して下さい。
■取り付け完了後、リヤスタイリングキット及び車両部品に傷がついていないか点検して下さい。
■取り付け完了後、**最低３時間**は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意して下さい。
（両面テープの剥がれ、車両とリヤスカートとの間に隙間が発生するおそれがあります。）

アドバイス･･･この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

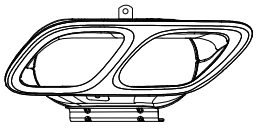
MODELLISTA

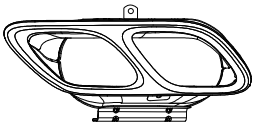
230-0924-064-A06

LC モデリスタバージョン　テールエンドフィニッシャー　品番 D2173-63010 MSB53-11001

構成部品

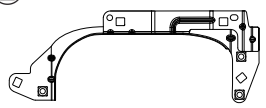
①

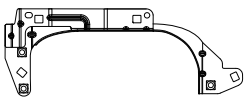




×各1ヶ

②





×各1ヶ

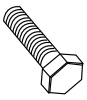
No.	品　名	個数
①	テールエンドフィニッシャー_本体	各1ヶ
②	取付ステー	各1ヶ
③	取付ボルト(M8)	8ヶ
④	ワッシャー	8ヶ
⑤	型紙	1ヶ

③



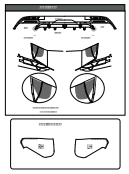
×8ヶ

④



×8ヶ

⑤

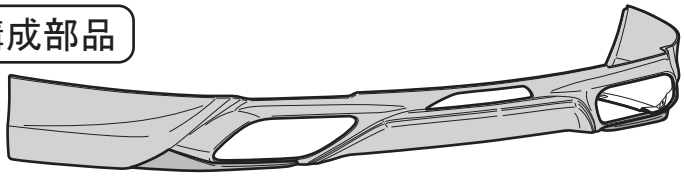


×1枚

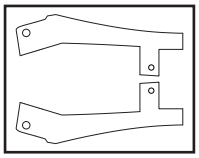
LC モデリスタバージョン　リヤスカート　品番 D2641-62910-** MSD43-11001-**

構成部品

①

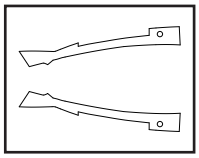


②



×1シート

③



×1シート

No.	品　名	個数
①	リヤスカート	1ヶ
②	位置出しシール_A	1ｼｰﾄ
③	位置出しシール_B	1ｼｰﾄ
④	クリップ(M6)	4ヶ
⑤	プッシュリベット(107D)	2ヶ
⑥	両面テープ t1.2	1ｼｰﾄ
⑦	PACプライマー N200	1ヶ
⑧	取付要領書	1ヶ

④



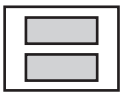
×4ヶ

⑤



×2ヶ

⑥



×1シート

⑦



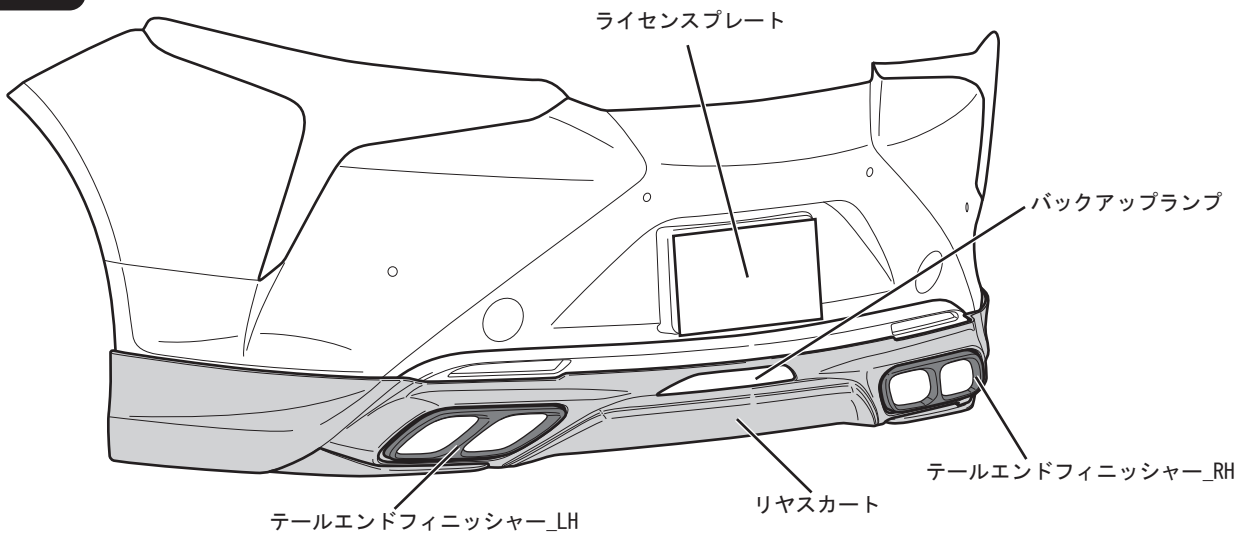
×1ヶ

⑧



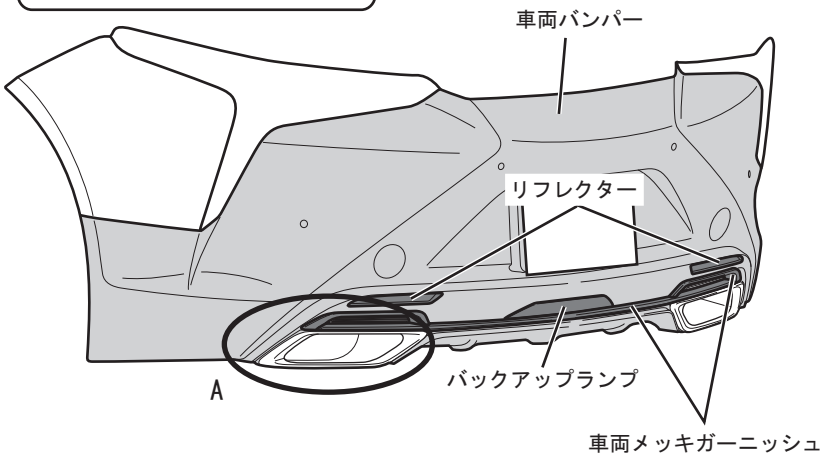
×1ヶ

取付概要

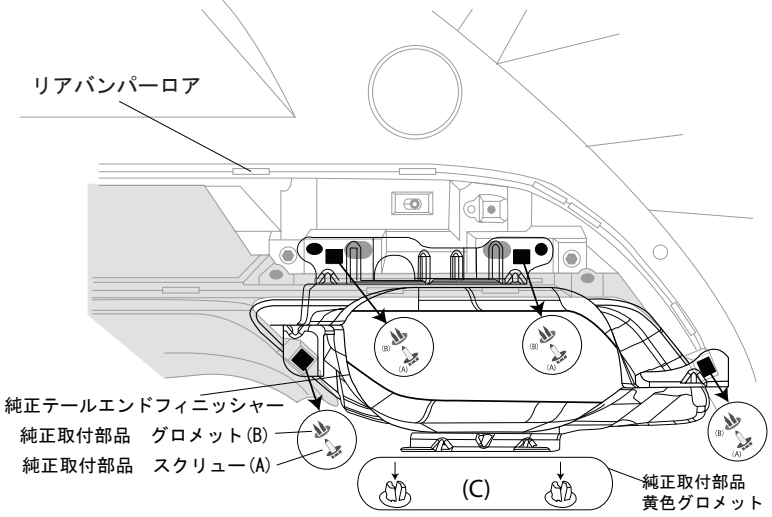


取　付　手　順

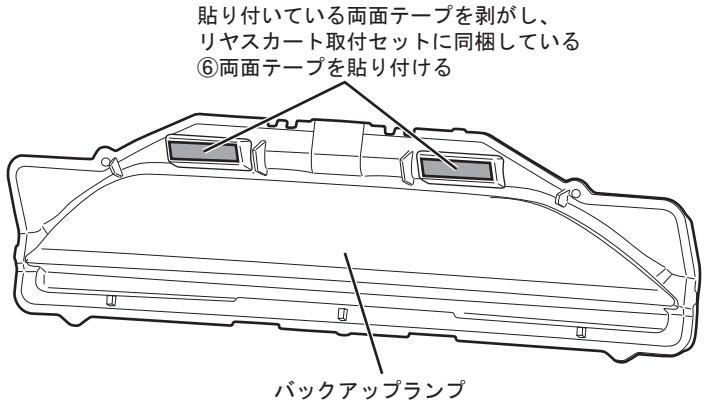
Ⅰ.車両部品の取り外し



・拡大図A



※バックアッププランプへの⑥両面テープ貼り付け位置



＜図１＞

※項目Ⅰ～Ⅲは、テールエンドフィニッシャーの取付手順となります。
項目Ⅳ以降は、リヤスカートの取付手順となります。
※以下手順は、LH側を図示しています。
RH側も同様に作業を行ってください。

1. 車両バンパーを取り外す。（図１参照）

アドバイス

・以降、車両部品の取り外し・取り付けは、トヨタ自動車整備マニュアルを参照してください

2. 車両マフラーガーニッシュを取り外す。
（図１　拡大図A 参照）

※取り外しの際は、A→B→Cの順に取り外しを行ってください。

アドバイス

・取り外した部品は再使用しますので、紛失に注意してください。

再使用部品
スクリュー　（A）×４
グロメット　（B）×４
グロメット黄　（C）×２

3. 車両リヤリフレクター下のメッキガーニッシュを取り外す。

※メッキガーニッシュの取り外しは、バックアッププランプ(以降、BUランプと省略)の取り外しが必要です。
メッキガーニッシュ取り外し後、BUランプを車両へ復元してください。
BUランプ復元前に、貼り付いている両面テープを剥がし、同梱している⑥両面テープへ貼り直しを行ってください。

⚠ 注意

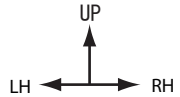
・両面テープ貼り付け前に、必ず脱脂作業を行ってください。

アドバイス

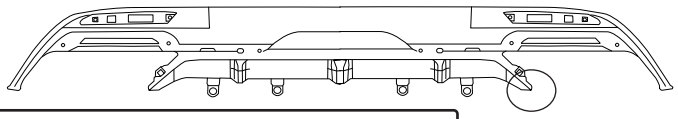
・取り外したメッキガーニッシュは再使用しません。

Ⅱ. 車両バンパーロアの加工

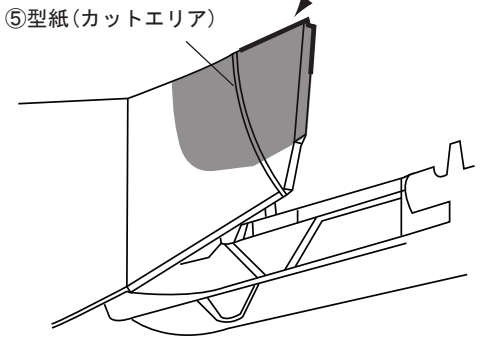
車両バンパーロア　裏面図



※車両バンパーロアの裏面側からのレイアウトとなります。
ＲＨ・ＬＨの向きにご注意下さい。



・矢視B
太線部バンパーラインに合わせて貼り付ける



※RH側も同様に貼り付けてください。



＜図２＞

1. ⑤型紙を車両バンパーロアに貼り付ける。
（図２ 矢視B 参照）

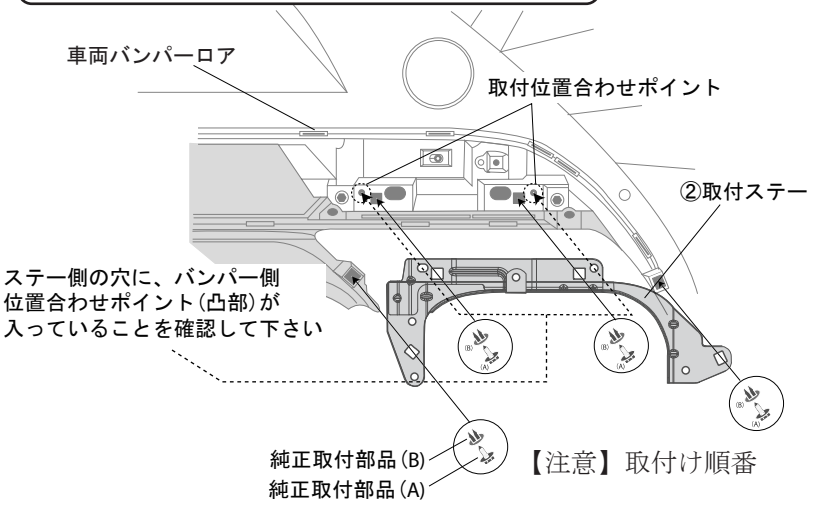
※型紙・カットエリア詳細はテールエンドフィニッシャーの取付セットへ同梱しています。

2. ⑤型紙に合わせて、超音波カッター等を使用して車両バンパーロアをカットする。
（図２ 矢視B 参照）

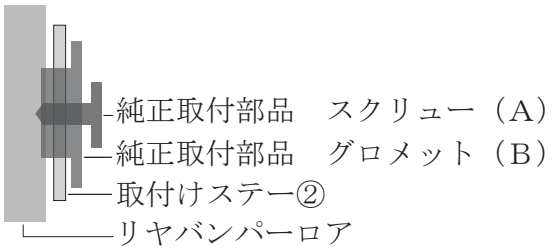
⚠ 注意

カッター等を使用する際は、十分注意して下さい。
取り扱い方法を誤ると重大な傷害につながるおそれがあります。

Ⅲ. テールエンドフィニッシャーの取付



【取付け順番】



＜図３＞

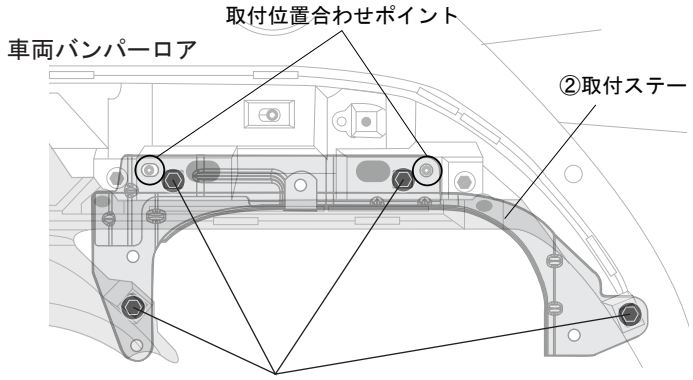
1. ②取付ステーを車両バンパーロアに仮合わせする。（図３参照）

※車両バンパーロアの取付位置に合わせ、ポイント部に②取付ステーの穴位置を合わせて下さい。

アドバイス

・車両バンパー側の取付位置合わせポイント(凸部)に問題無く②取付ステー側の穴が入っている事を確認して下さい。

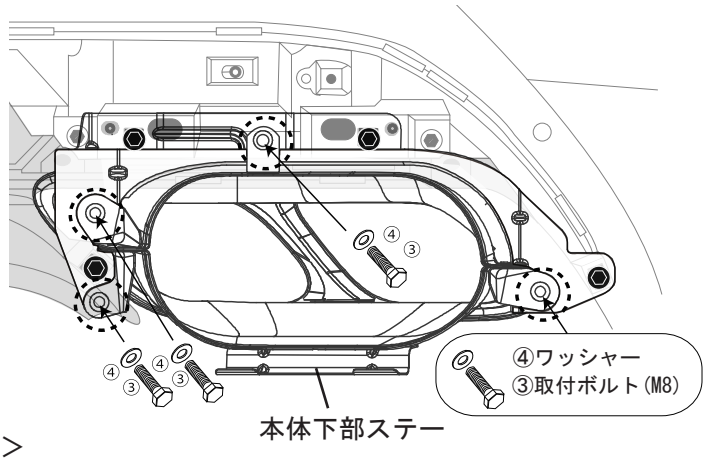
2. 取付位置合わせに②取付ステーにズレが無い事を確認し、グロメット（B）➡スクリュー（A）の順番で取り付けて下さい。
（図３ 【取付け順番】 参照）



②取付ステーが着座してガタが無い事を
確認して締め付けて下さい。

＜図４＞

3. 取付ステーが着座して、ガタが無い事を確認し、締付て下さい。（図４参照）

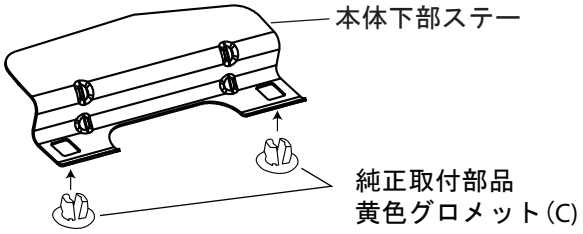


＜図５＞

4. ①テールエンドフィニッシャー_本体を②取付ステーに合わせて、③取付けボルト(M8)に④ワッシャーを入れて(4ヶ所)組み付けて下さい。（図５参照）

アドバイス

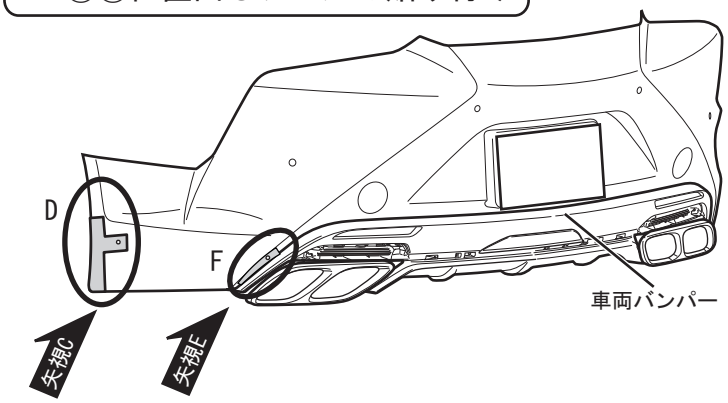
・①テールエンドフィニッシャー_本体取付ボルトは、エアロパーツ装着後、位置調整が必要となりますので仮止めにて作業を行ってください。

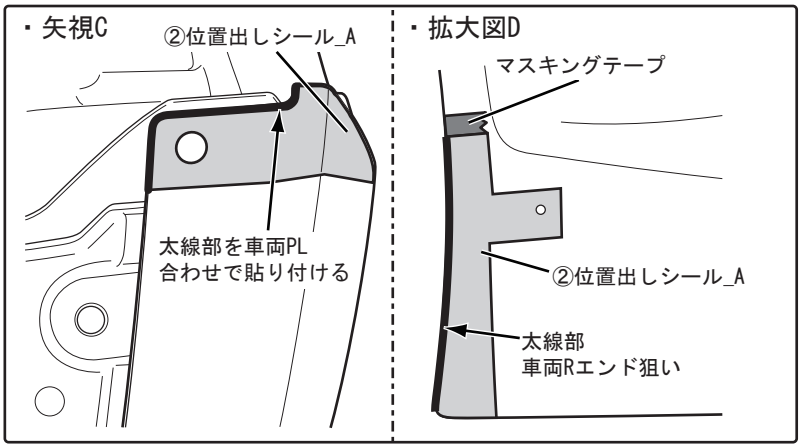


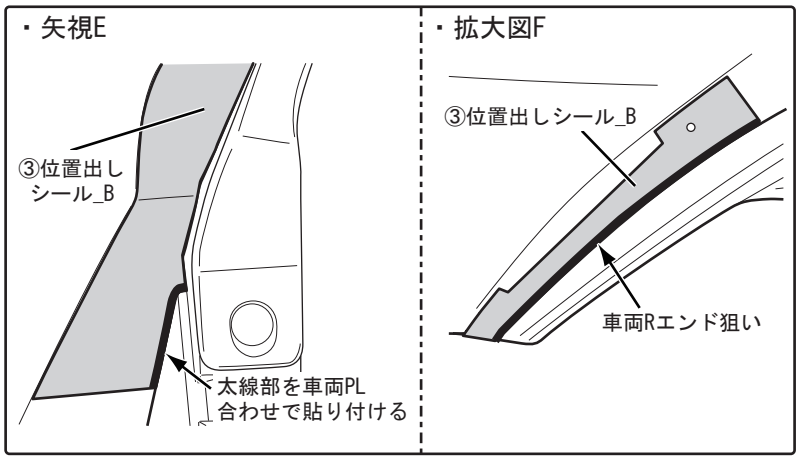
＜図６＞

5. 車両取付部品　黄色グロメット（C）を本体下部ステーに取付けて下さい。（図６参照）

Ⅳ. ②③位置出しシールの貼り付け







＜図７＞

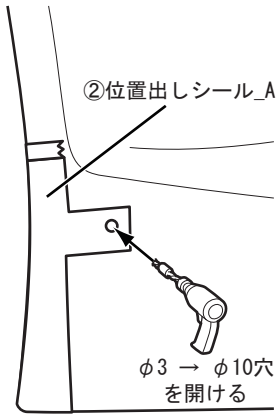
1. ②③位置出しシールを、左図の要領で車両バンパー下面のパーティングラインに合わせて貼り付ける。（図７参照）

※RH側も同様に作業を行ってください。

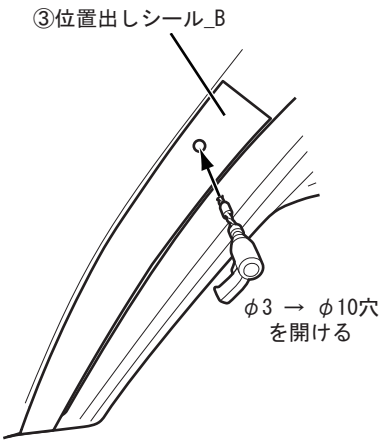
2. ②位置出しシールAの上端合わせて、マスキングテープを貼り付ける。（図７ 拡大図D 参照）

※①リヤスカートの仮合わせ・取り付け時の高さ基準に使用します。

Ⅴ. 車両バンパーの加工



＜図８＞



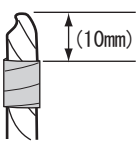
＜図９＞

1. 前項にて貼り付けた、②③位置出しシールの穴中心を狙って、φ10穴を開ける。

※φ3→φ10の順に穴開けを行ってください。（図８・９ 参照）

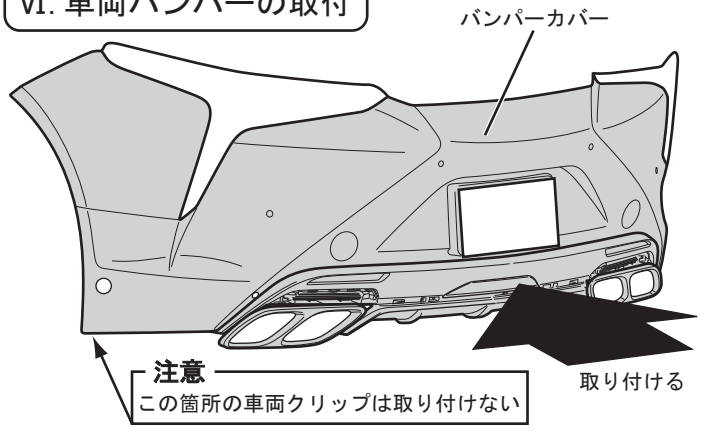
⚠注意

突き抜け防止のため、ドリル先端から10㎜程度のところにマスキングテープ又はガムテープを巻いて下さい。



2. ②③位置出しシールを車両バンパーから剥がす。

Ⅵ. 車両バンパーの取付



＜図１０＞

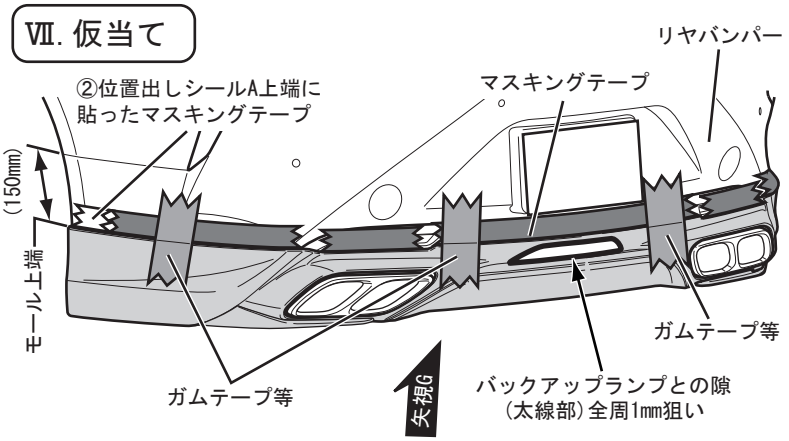
1. 車両バンパーを車両へ取り付ける。
（図１０参照）

※車両バンパー取付の際、車両マフラーガーニッシュ・メッキガーニッシュ・左図位置のクリップは取り付けないでください。

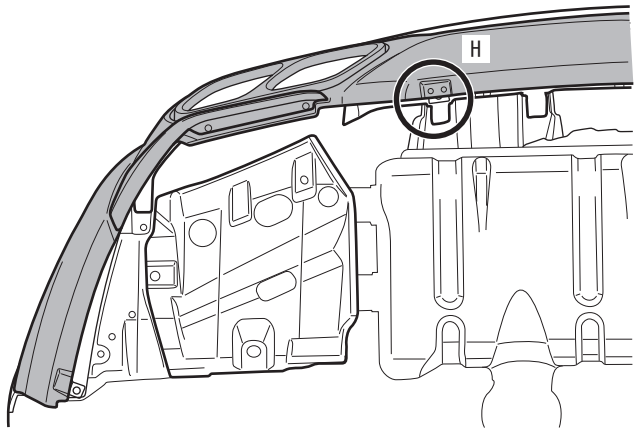
アドバイス

・車両部品取り付けは、トヨタ自動車整備マニュアルを参照してください

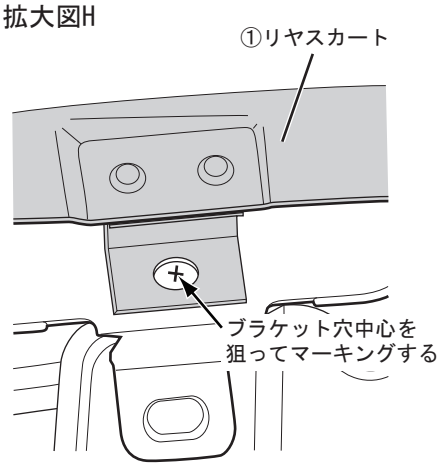
Ⅶ. 仮当て



・矢視G



・拡大図H



＜図１１＞

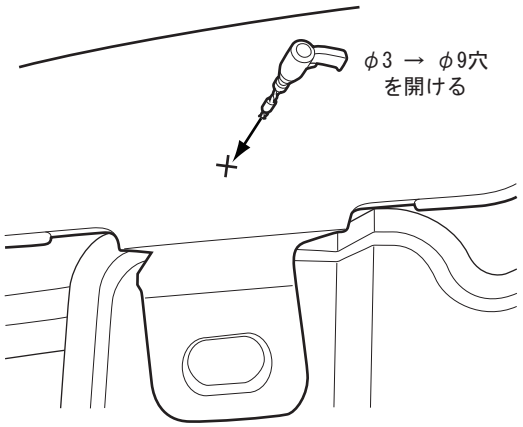
1. ①リヤスカートを左図の要領で車両へ仮当てをし、脱落防止の為、ガムテープ等で固定する。
（図１１参照）

2. ①リヤスカートのエンドモール上端に合わせてマスキングテープを貼り付ける。
（図１１参照）

3. ①リヤスカート下面の中央側ブラケット（2ヶ所）の穴中心に、ケガキ針等を使用してマーキングする。（図１１ 拡大図H 参照）

4. ①リヤスカートを車両バンパーから取り外す。

Ⅷ. 車両バンパーの加工



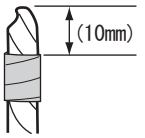
＜図１２＞

1. 前項にて車両バンパー下面へマーキングした位置にドリルを使用して、φ9穴を開ける。

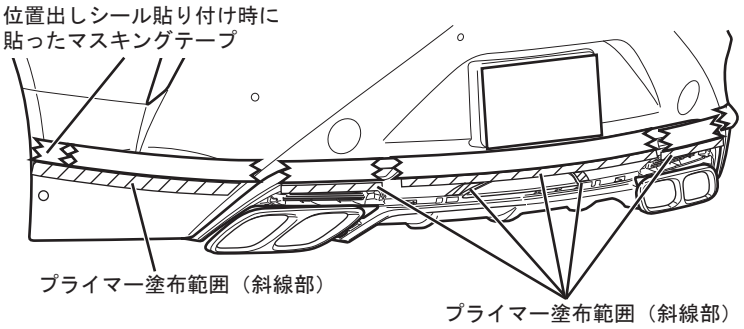
※φ3→φ9の順に穴開けを行ってください。（図１２参照）

⚠ 注意

突き抜け防止のため、ドリル先端から10㎜程度のところにマスキングテープ又はガムテープを巻いて下さい。



Ⅸ.プライマーの塗布



＜図１３＞

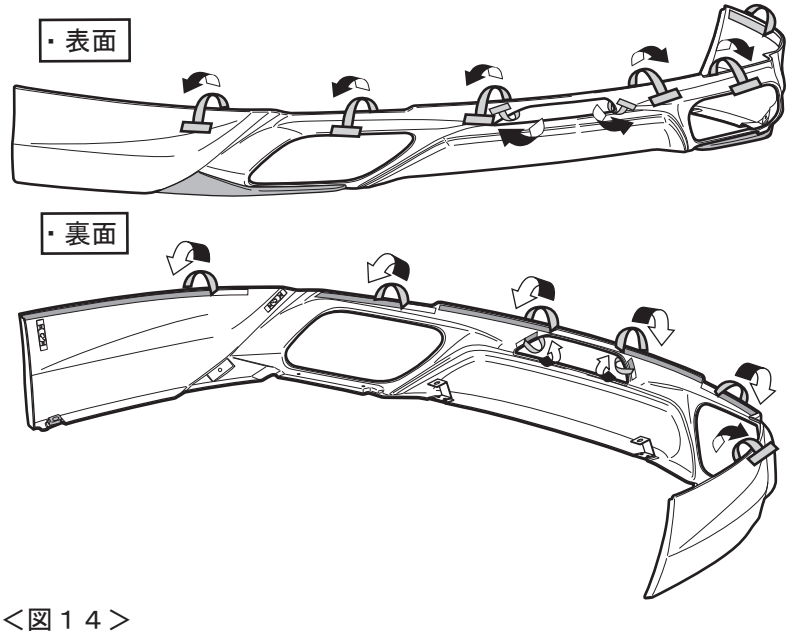
1. 両面テープ貼り付け部（図１３斜線部）を脱脂し、⑦N200 PACプライマーを塗布する。

アドバイス

- **PACプライマーN200**は特に塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取って下さい。
  PACプライマーN200塗布後は、常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。
- ボディーコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部分のボディーコートを除去して下さい。

2. 取付位置出し用のマスキングテープのみ残し、それ以外を全て剥がす。

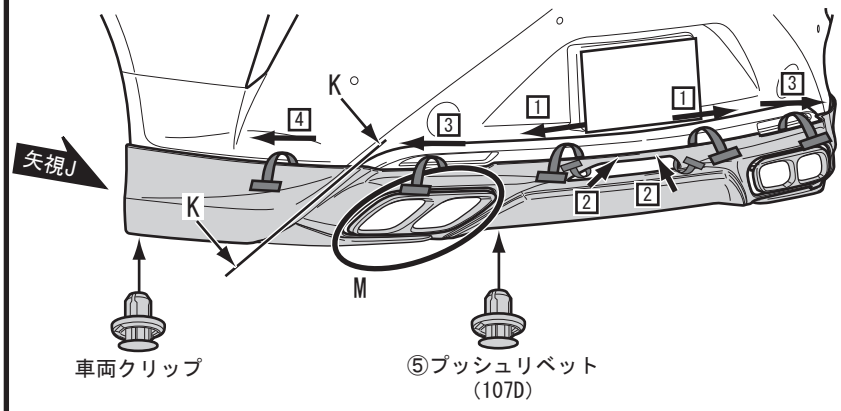
Ⅹ. 取付準備



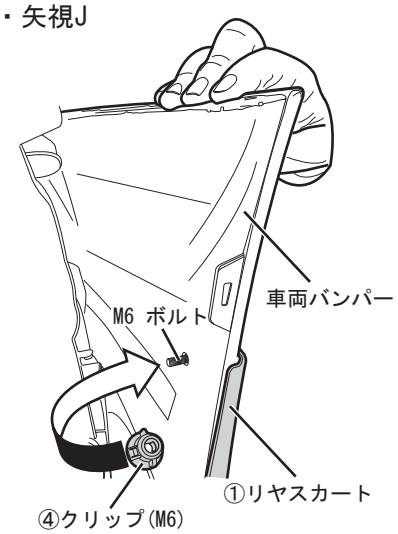
＜図１４＞

1. リヤスカート裏面の両面テープ離型紙を少し剥がし、意匠面側にマスキングテープで固定する。（図１４参照）

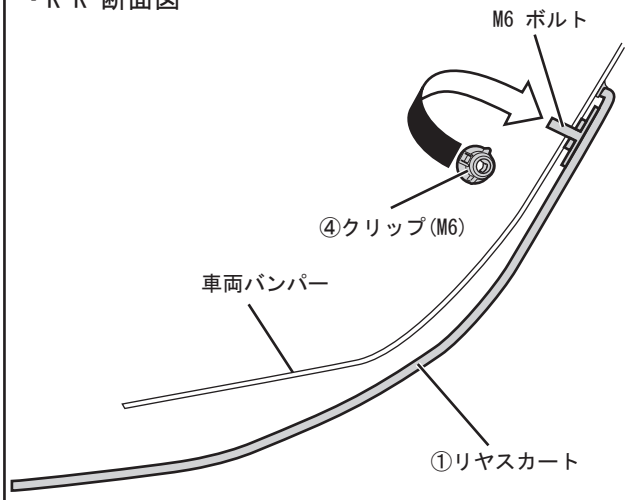
XI.取付



・矢視J



・K-K 断面図



1. 仮当て時と同様の手順で①リヤスカートを車両に仮当てする。

2. 両面テープ離型紙を1～4の順に引き抜きながら圧着する。 （図１５参照）

アドバイス

・離型紙が途中で切れない様に、リヤスカートを少し浮かせながら離型紙を引き抜いて下さい。
・両面テープの圧着は、49N(5kgf/cm²)程度の力で行って下さい。

3. 車両バンパー裏面の①リヤスカートのM6 ボルト位置（4ヶ所）に、④クリップ（M6）で固定する。（図１５ 矢視J・K-K 断面図 参照）

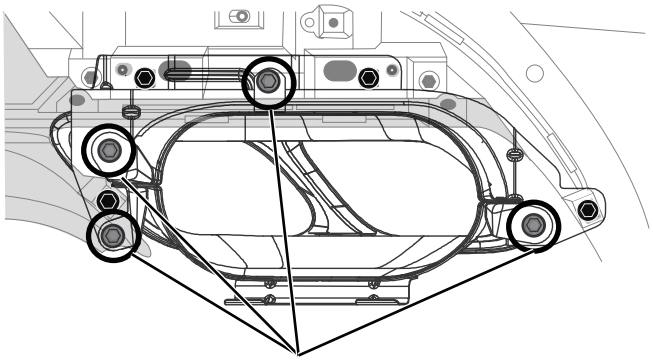
4. ⑤プッシュリベット（107D)・車両クリップを①リヤスカート下面の各ブラケット（2ヶ所）位置に取り付ける。（図１５参照）

5. 仮固定していた、テールエンドフィニッシャーのボルト（4ヶ所）を本締めする。
（図１５ M部 裏面図 参照）

※①リヤスカートとのクリアランス全周一定隙にて調整後、締付トルク：15N・mにて本締めを行ってください。

6. ①リヤスカートの浮き、剥がれが無いことを確認し、両面テープ貼り付け後、３時間以上放置し**再圧着**して取付作業終了です。

・M部 裏面図



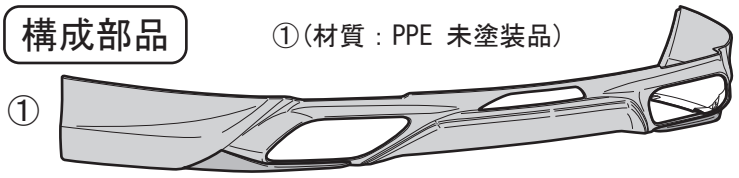
仮締めしていた取付ボルトを本締めする。

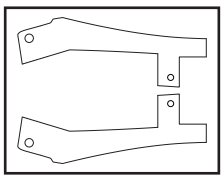
＜図１５＞

リヤスカート素地品の塗装手順

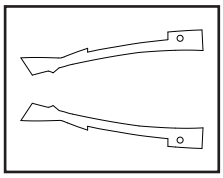
構成部品

①(材質：PPE 未塗装品)





×1シート



×1シート



×4ヶ



×2ヶ



×1ヶ



×1ヶ

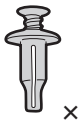


×1ヶ





×各1ヶ



×4ヶ



×2ヶ



×各色 1ヶ

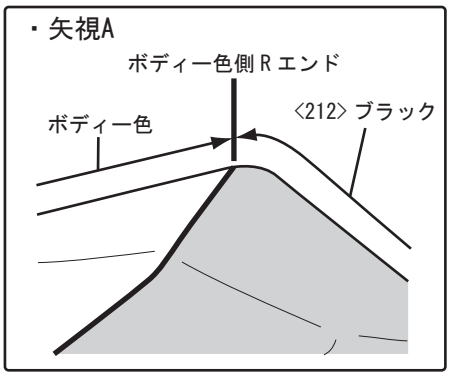
No.	品　　名	個数
①	リヤスカート	1ヶ
②	位置出しシール_A	1ｼｰﾄ
③	位置出しシール_B	1ｼｰﾄ
④	クリップ(M6)	4ヶ
⑤	プッシュリベット(107D)	2ヶ
⑥	両面テープ t1.2	1ｼｰﾄ
⑦	PACプライマー N200	1ヶ
⑧	取付要領書	1ヶ
⑨	メッキガーニッシュ_LH/RH	各1ヶ
⑩	スクリベット(21M2)	4ヶ
⑪	M5 ナット	2ヶ
⑫	エンドモール	グレー:1 ブラック:1

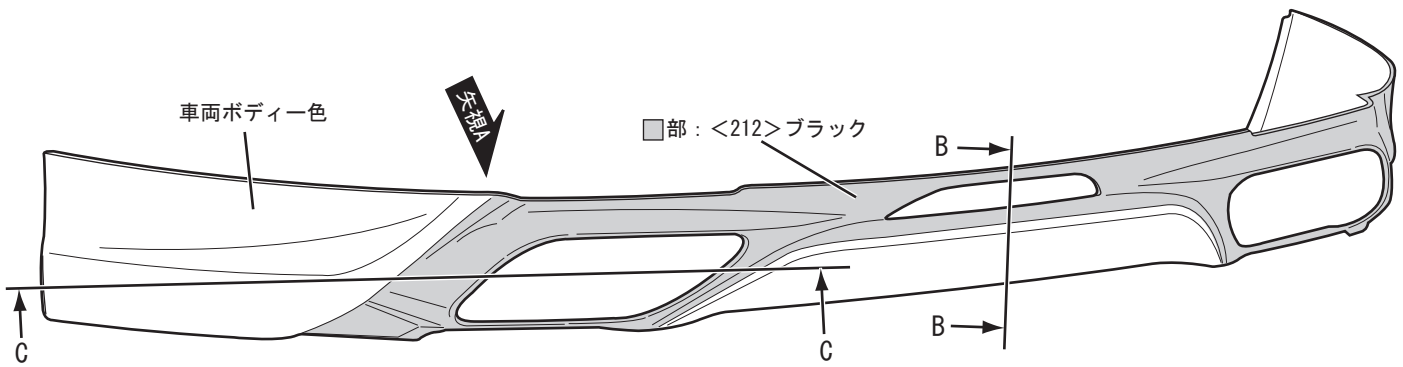
エンドモール推奨使用色

色番号	色 名 称	モール色
083	ホワイトノーヴァガラスフレーク	グレー
1J2	ソニックシルバー	グレー
1J7	ソニックチタニウム	グレー
1G0	ダークグレーマイカ	ブラック
212	ブラック	ブラック
223	グラファイトブラックガラスフレーク	ブラック
3T5	ラディアントレッドコントラストレイヤリング	ブラック
5C1	ネープルスイエローコントラストレイヤリング	グレー
6X4	テレーンカーキマイカメタリック	ブラック
4Y1	ブレージングカーネリアンコントラストレイヤリング	ブラック
1L2	ソニックイリジウム	グレー
1L1	ソニッククロム	ブラック
4Y5	ソニックカッパー	ブラック
8X1	ヒートブルーコントラストレイヤリング	ブラック

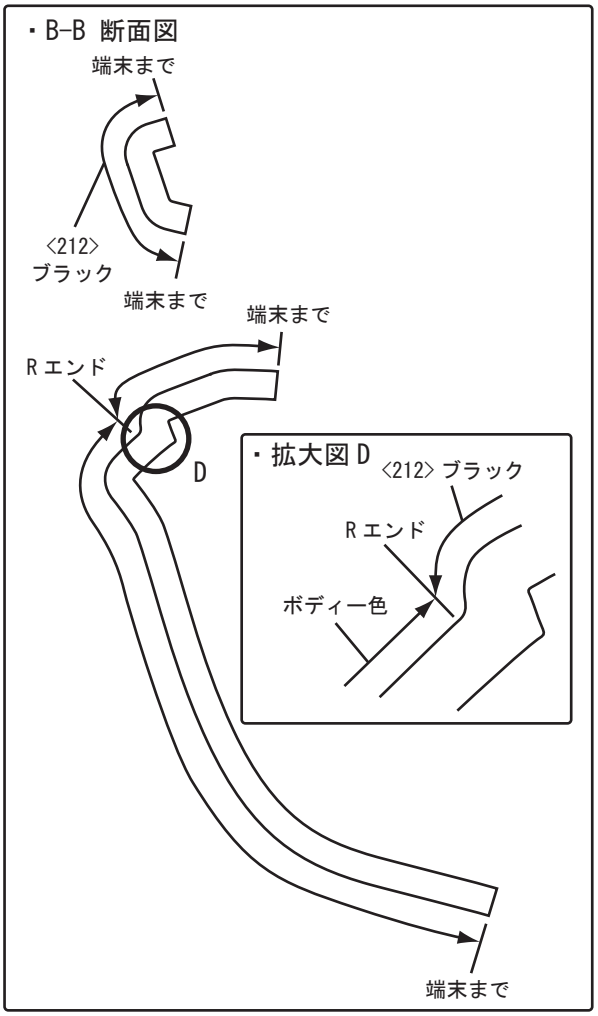
Ⅰ.塗装作業

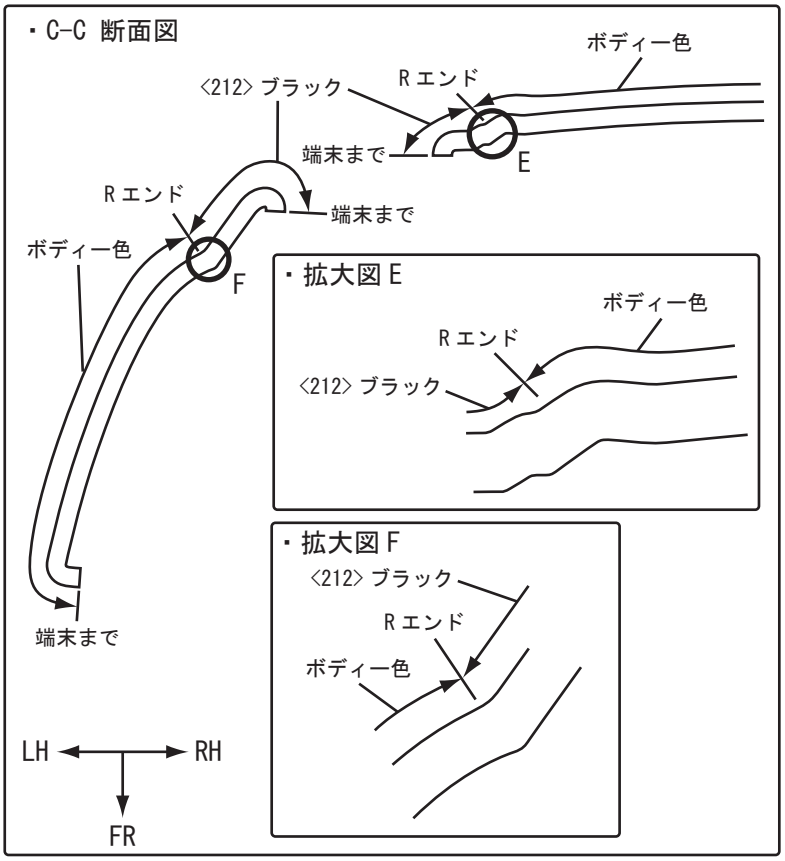
1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行う。
2. 製品に貼り付けてある両面テープ・M6 ボルト（4ヶ所）を全面マスキングする。
3. プライマー塗装を行う。
4. 上塗り塗装を行う。
注記：上塗り塗料はウレタン系をご使用下さい。
5. 硬化
注記：硬化温度は、成形樹脂の物性上、必ず60℃以下で硬化させて下さい。





<図1>





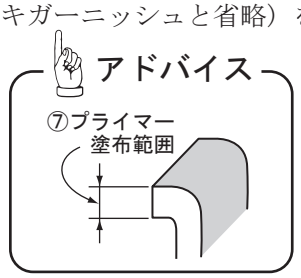
Ⅱ. プライマーの塗布

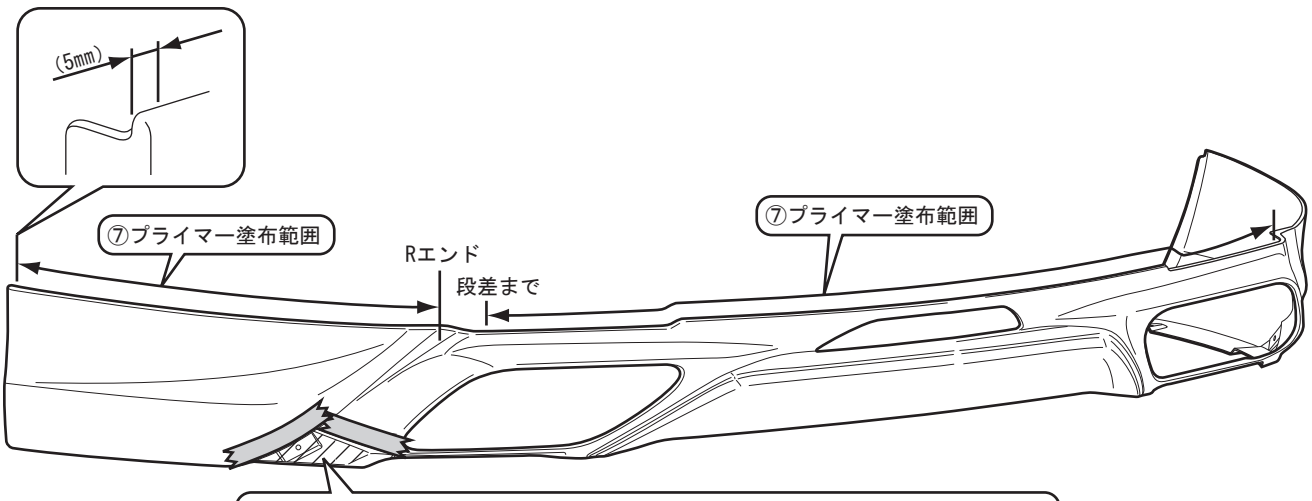
※本紙では、LH側の取付手順について説明しています。RH側も、同様の手順で取付作業を行なって下さい。

1. 塗装終了後、⑫エンドモール・⑨メッキガーニッシュ_LH（以下、メッキガーニッシュと省略）を貼り付ける部分を脱脂し、⑦PACプライマー N200を塗布する。（図２参照）

アドバイス

・プライマーはスポイラー取り付け時に再度使用します。
・揮発性が高いので、速やかに袋に戻し揮発を抑えて下さい。
・プライマー塗布部以外は必要に応じてマスキングをして下さい。

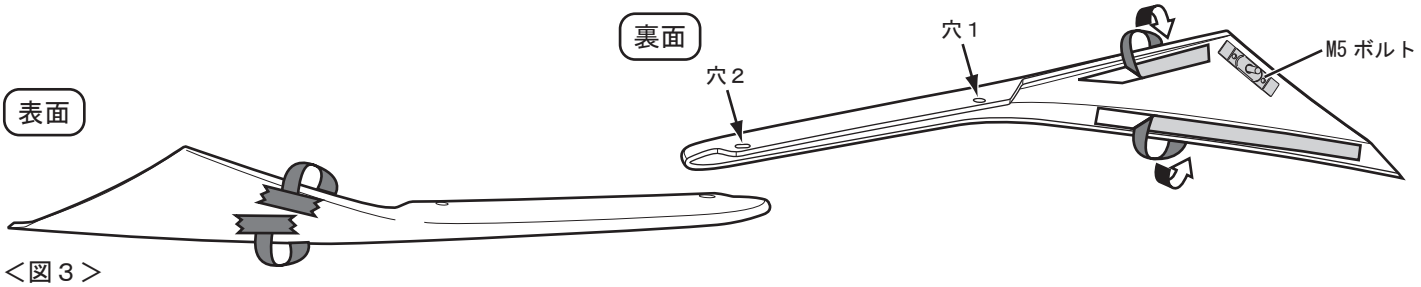




＜図２＞

Ⅲ.⑨メッキガーニッシュの組み付けと⑫エンドモールの貼付

1.⑨メッキガーニッシュの両面テープ離型紙を少し剥がし、表側へ折り返しマスキングテープで止める。(図３参照)



＜図３＞

2.⑨メッキガーニッシュ裏のM5 ボルトを①リヤスカートに差し込む。（図４ 裏面図 参照）
※M5 ボルトを差し込む際、両面テープの先付きに注意してください。

3.⑩スクリベット(21M2)を①リヤスカートと⑨メッキガーニッシュ下面の穴位置を合わせて、
1 、2 の順に取り付ける。（図４ 裏面図 参照）

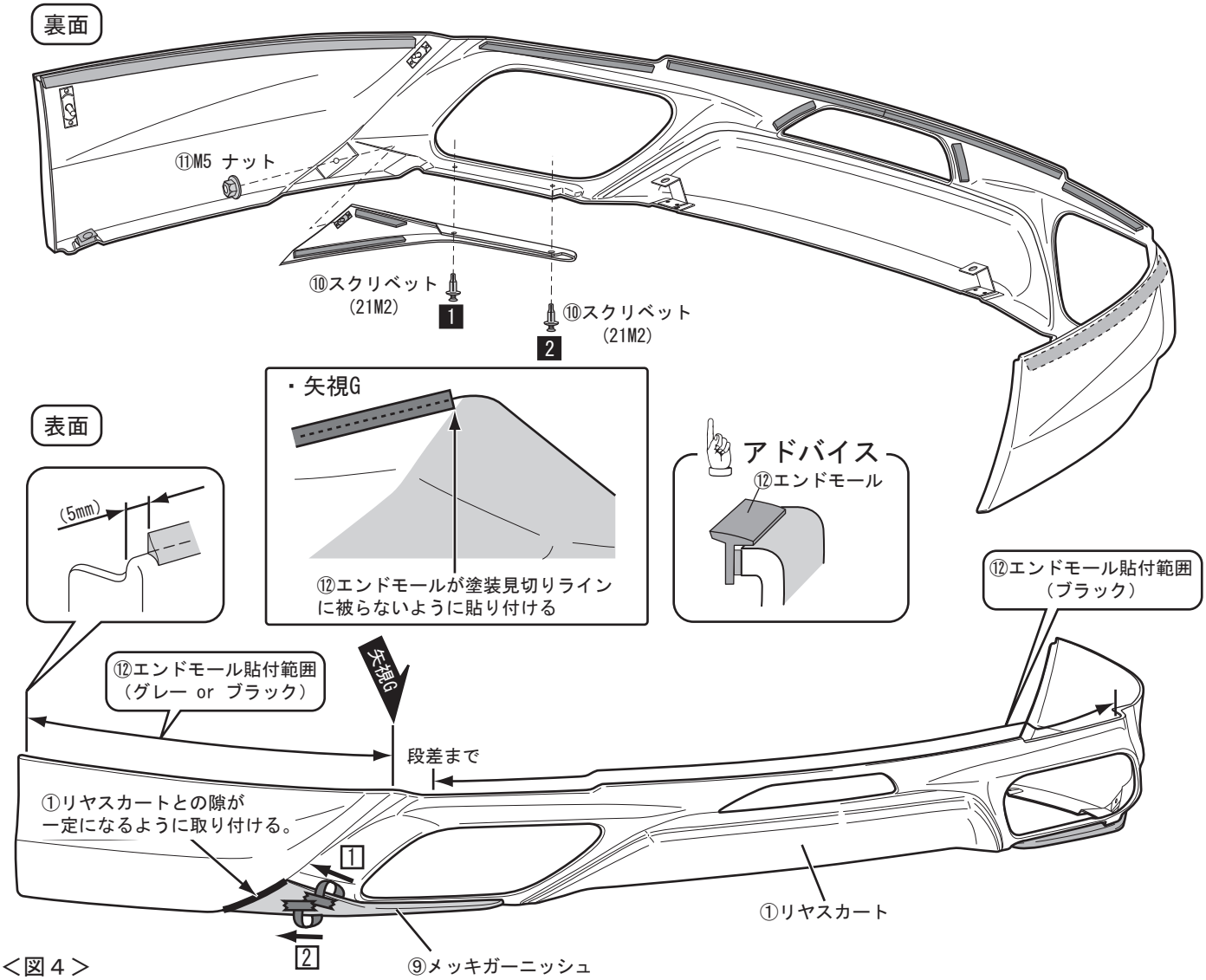
4.⑨メッキガーニッシュの両面テープ離型紙を、1 、2 の順に引き抜きながら表裏両面から49Nで圧着する。
（図４ 表面図 参照）
※①リヤスカートと⑨メッキガーニッシュの隙が一定になる様に調整しながら取付を行ってください。

5.⑨メッキガーニッシュ裏のM5 ボルト（1ヶ所）を⑪M5 ナットで固定する。（図４ 裏面図 参照）

アドバイス

・⑪M5 ナットを固定する際は、表側のメッキを押さえながら固定してください。

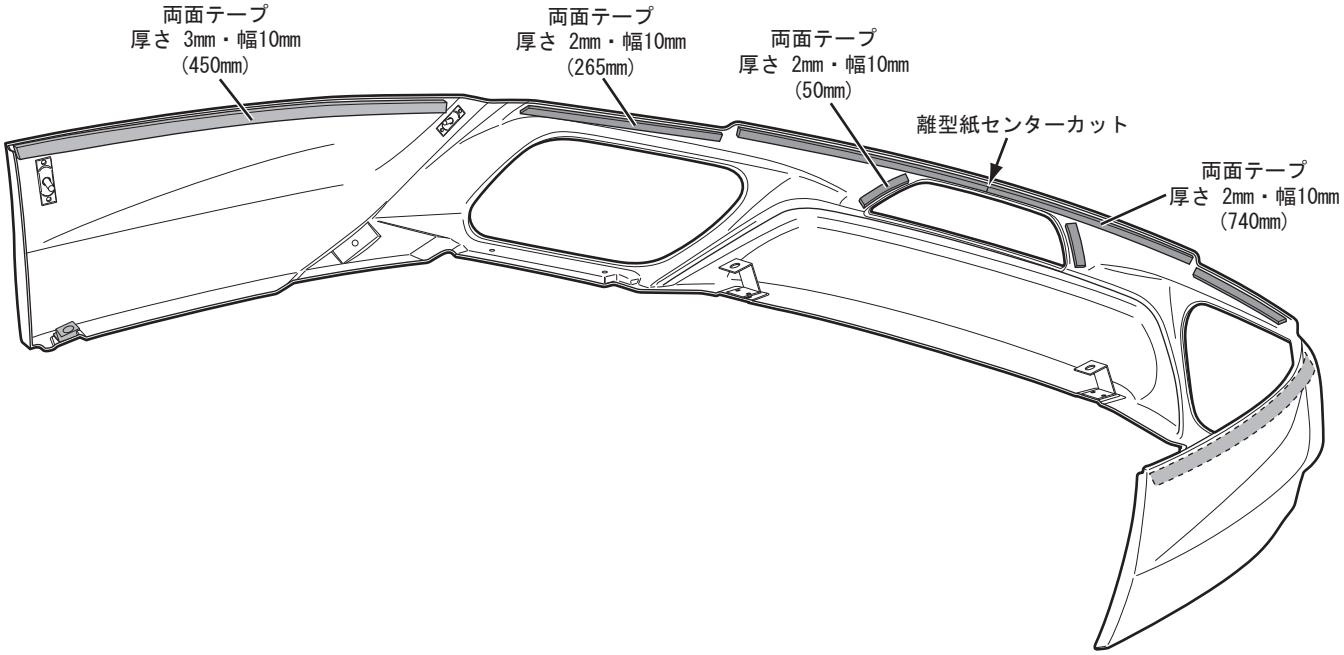
6.⑫エンドモールを①リヤスカートに貼り付ける。（図４ 表面図 参照）



＜図４＞

※. 補修キット両面テープ貼り位置

1. 補修キットを使用して①リヤスカートの再取付を行う際は、下図を参照に両面テープを選択し貼り付けて下さい。



株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント
https://www.modellista.co.jp
「お問合せ先」
モデリスタコールセンター TEL 050-3161-1000

脱脂作業要領書

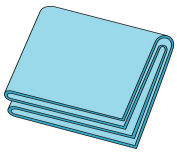
本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のＱＲコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

①エアロ取付準備・脱脂　（約 3 分）
②エアロ位置決め・取付・圧着（約 6 分）
③デカール準備・水貼り・圧着（約 4 分）
合計　約 13 分

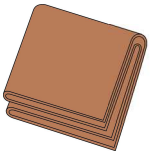
■　取付け時の脱脂作業に必要な工具等


水拭き用バケツ


合成セーム皮


脱脂剤用
スプレーボトル


ゴム手袋


DRY 用
ウエス


WET 用
ウエス


イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■　脱脂作業上の注意事項

1．ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2．隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
　※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3．脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4．脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5．脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠注　意・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
≪脱脂作業前に≫以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■　脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
  汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
  ※コーティング剤が残っていると両面テープはハガレます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■　脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

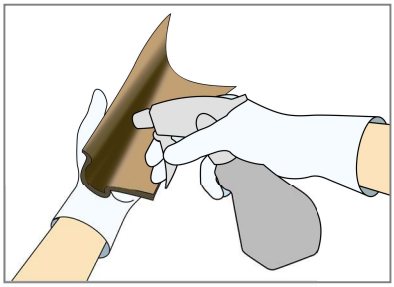

水拭き用バケツ


合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。


WET 用ウエス

※　ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。

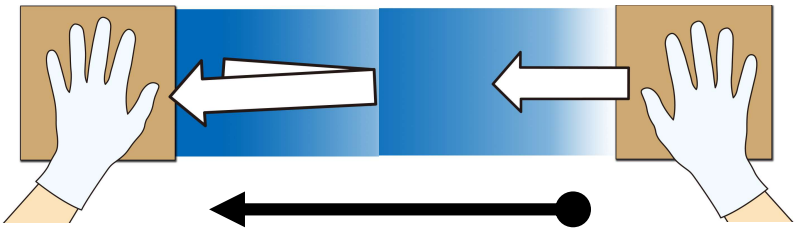


WET 用ウエスにスプレーボトルを５cm ほど離して、初回は１０回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で５回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】
脱脂剤を含ませたウエスで
１往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

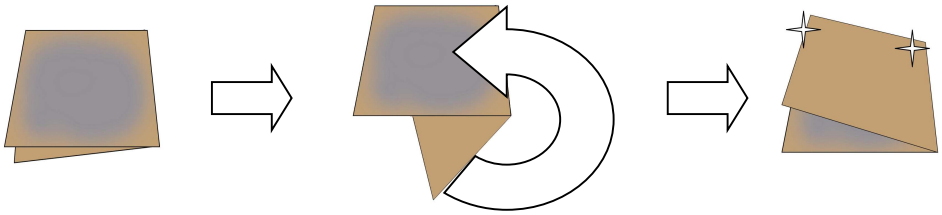
②【DRY 拭き】
DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



１ブロック６０ｃｍ程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。
範囲が広い場合は１ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる

WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。
（上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。）

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・ DRY 拭きを行ってください。



WET／DRY のウエス共に３～５ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。